

# AOI通信

静岡音楽館俱楽部情報誌  
SEPTEMBER 2011 No.63

秋号



インタビュー  
**アンサンブル・イティネラール**  
事務局長 ジャン=ルー・グラトン

特集!!  
静岡室内楽フェスティバル2011

コンサートシリーズ2011-12[第3期]のご案内

調律師とピアノ

AOI ゆかりのアーティスト 日比恵三さん(ヴァイオリン)

# アンサンブル・イティネラールの ジャン=ルー・グラトン 事務局長に訊く

——アンサンブル・イティネラールは、今日ヨーロッパで現代音楽の世界に身を擲げる重要なアンサンブルの1つに発展しました。彼らはどうのように出発したのでしょうか。

最初イティネラールは、パリ音楽院のメシアン<sup>1</sup>のクラスを出たばかりの作曲家たちに、友人だった演奏家が加わった、新しい音楽創造を目的としたアンサンブルでした。創立メンバーには、ロジェ・テッショ、トリスタン・ミュライユ、ジェラール・グリゼー、ユーグ・デュフル、ミカエル・レヴィナスがいて、音響現象の観察から「音」そのものを探究し、時間を組織しようとしていました。彼らの電子音楽スタジオでの作曲経験から、音響学や音響心理学を用い、ポスト・セリエル楽派<sup>2</sup>に反対しながら、作曲への新しいアプローチをさぐりました。印象派の画家たちも、自然にインスピレーションを受けながら、形式化してしまったアカデミズムとの縁を切ろうとしましたね。彼らについても全く同じで、採用したモデルそのものが当時のシステムと合わなかったのです。こうした若い作曲家たちは当然電子音響とともにロックやジャズ、ポップスにも興味をもっていました。

——70年代当時としては、電子音響を含むとても新しいグループでしたね。

はい。創立から37年にわたって、イティネラールは世代の異なる作曲家たちと冒險をともにしてきました。その中にはジャン=リュック・エルベ、野平一郎、フランク・ペドロッセン、望月京、ファウスト・ロミッティ、そしてアンサンブルのピアニストでもある棚田文紀がいます。今日アンサンブルの素晴らしい演奏家たちのおかげで、イティネラールは新作を初演することで冒險するエスプリを持続け、未知の領域を探求するクリエーターを応援し続けています。

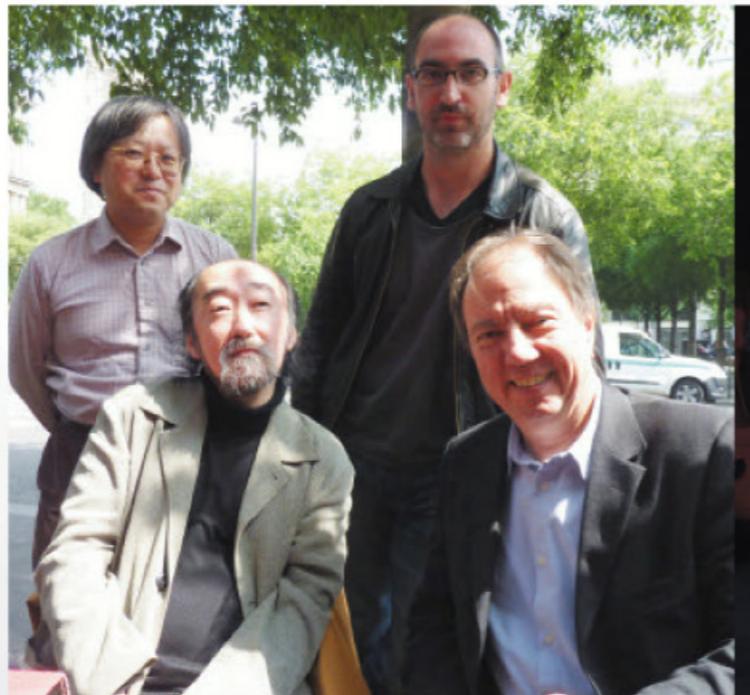
——今回演奏される、創立メンバーの1人グリゼーという作曲家について教えてください。

1946年の生まれで、デュティユー、リゲティ、シュトックハウゼン、クセナキスと作曲を勉強しました。ローマ賞<sup>3</sup>を取ってヴィラ・メディシスに滞在していた時、1つの音の高さだけの作品を書いていたジャチント・シェルシの元に足しげく通うようになります。また音響学者エミール・レップの科学的なアプローチにも多大な影響を受けました。イティネラールの創立者の1人として、スペクトル音楽<sup>4</sup>の流れを作り、彼の大作《音響空間》は20世紀後半の流れを作り出しました。また今回演奏される《時の渦》(Vortex Temporum) (1996)は彼の最高傑作と称されています。この作品に見られるグリゼーの音楽の自由闊達さ、形式や楽器の扱いなど、素晴らしい高みに達しています。

——グリゼーは、教育にも熱心で、日本にも夏田昌和や金子仁美、鈴木純明など多くの弟子がいます。

82年にカリフォルニア大学のパークレー校で教職について以来、86年からはパリの国立高等音楽院でもオーケストレーションのクラス、そして作曲のクラスで多くの作曲家を育ててきましたが、残念なことに98年11月11

日に将来を嘱望されつつ亡くなりました。「われわれ音楽家のモデルは、文字でも数でも演劇でもなく、音だ」という言葉を残しながら。



(前列右:J.-L.グラトン事務局長、左:野平一郎、後列右:C.ロッシュ新事務局長、左:棚田文紀)

——今回のプログラムには、どのような意図があるのでしょうか?

このプログラムは空間と音色を浮遊する旅のようなものです。20世紀音楽の流れの中には、セリー音楽<sup>5</sup>のような音の高さについての「規制緩和」があり、また簡単な拍節をとび越えた音楽的時間の探究がありました。また、音色や色彩の組織化もありましたが、音そのものの特徴からそれを行ったのがジェラール・グリゼーの仕事のきっかけであり、イティネラールの設立者たちが行って来たことなのです。この音響スペクトルのアイディアは、物理学の法則そのものを明白に参照しています。

さて、ファウスト・ロミッティは卓抜した色彩の音楽家です。その音楽は分類不可能、70~80年代のポップやロックから、発音の瞬間に発生するトランジット<sup>6</sup>についての最も進んだ探究にいたるまで、受けた影響は多岐にわたりています。野平一郎と棚田文紀に関しては、彼らはこのコンサートの導きの糸。この2人の注目すべきピアニストは、彼らの作品においてフランスと日本の文化のエレガントな共鳴を実現しながら、音楽的時間(野平一郎の場合)や楽器の空間(棚田文紀の場合)を創造出来るのです。



アンサンブル・イティネラール

©Julien Bourgeois

——同じ作曲家として、とても共感するところがあります。彼にとって作品の形式とはどうあるのでしょうか。

これも彼の言葉を引用しましょう。「作品とは前もって決められた五線紙の枠に、素晴らしい音楽性をはめ込んで行くようなものではありません。私にとって形式とは雲のようなものです。まず中心となるアイディアから出発しますが、それが曲の最初とは限りません。その核となるものが別のアイディアを産み出しながら、外部へと増殖して行きます」。

——新作を聴かせていただくのが、今からとても楽しみです。イティネラールは、ヨーロッパで演奏旅行を常になさっていますね。

ヨーロッパは1つの国ではなく、複数の言語と文化を持つ集合体です。お隣のイタリアやドイツに行くのでさえ、アンサンブルは異なった音楽交換を経験することで豊かになって行きます。この異文化を取り込んだ種々雑多な性格が「古きヨーロッパ」を乗り越えて、若い作曲家たちに創造の空間を与えるのだと思います。そうした若者たちは、いま世界を覆っている経済的な危機やアイデンティティーの問題にも関わらず、自らの枠を「乗り越え、とび越える」ことで音楽を産み出して行くのですから。

——最後になりましたが、この機会に何か日本の聴衆にメッセージをいただけますか?

ええ、もちろんです。友情と賞賛のメッセージを、です。この国は、今年未曾有の災害に見舞われました。そこで発揮されたあなた方の勇気と決意力は素晴らしかった。結局のところ、「TSUNAMI」と「FUKUSHIMA」は地球上のわれわれがいかに脆弱であったか、われわれが確信していたものがどれだけ危うかったのか、といったイメージを強く映し出しました。まさにそこで日本の国民はその賢明さを發揮され、自然の最も熾烈な試練に対してもその親和力を守ったのだと思います。この大災害の影響がまださめやらないにも関わらず、われわれを迎えてくださる静岡音楽館AOI、そして日本の聴衆に心からのメルシーを。こうしてわれわれのきずなは、芸術や音楽を通してより強くなることでしょう。

取材:静岡音楽館AOI芸術監督 野平一郎  
2011年5月3日、パリ、シャトレ カフェ・ツインマーにて

1 メシアン:オリヴィエ・メシアン(1908-92)はフランスの作曲家。20世紀音楽における巨匠ひとり。彼の作品は宗教(キリスト教)、自然(特に鳥)と結びついているものが多い。ビュッシーの影響を受け、そこから彼独自の旋法やリズム語法へと発展させた。トータル・セリエリズム(注2参照)の作曲家のひとり。その後の多くの作曲家たちに影響を与えた。

2 ポスト・セリエル音楽:オクターヴの12音を均等に用いたセリー(音列)によって作曲する音楽、セリエリズム(音列主義)によって19世紀までの調性に支配された音楽からの脱却が試みられ、その後、音高だけでなく、音強、音幅、アタック、音色も組織化しようとするとトータル・セリエリズム(総音列主義)に発展したが、ポスト・セリエル音楽は、そうした方向性から、クラスター(音塊)や微分音、ノイズ、電子音響などの使用にまで展開していく次の時代の音楽。

3 ローマ賞:フランス政府が年に一度行なっていた、彫刻・絵画・音楽部門のコンクールの大賞。大賞受賞者はタリアへ留学できる。ただし、音楽部門の場合、留学中に作品を作り、提出しなければならない。過去にはベルリオーズやドビュッシーなども受賞した。

4 スペクトル音楽:音を音響学的に捉え、スペクトル分析することにより作曲する方法をとる主義の音楽のこと。

5 セリー音楽:注2参照。

6 トランジット:例えばノイズのように、人の耳には直接は知覚できないが、しかし、音そのものにとって重要な構成要素のこと。



初演! アンサンブル・イティネラール  
10/15 18:00 開演(17:30 入場)  
静岡音楽館AOIホール(BF)  
全席定価¥4,000(静岡音楽館会員¥3,800)  
土 22歳以下¥1,000  
曲目/G.グリゼー:『時の渦』I・II・III  
棚田文紀:ギターのための協奏曲八重奏曲(日本初演)  
F.ロミッティ:  
・(プロフェッサー・バード・トリップ)レッサン<sup>1</sup> (日本初演)  
野平一郎:『もう一つの…』  
L.リゾーラム:『静岡音楽館AOI座間作品』世界初演

L'Ensemble Itinéraire

「静岡室内楽フェスティバル」の幕開けは、日本を代表するヴァイオリニスト小林美恵と、美しい音色を奏でるチェンパリスト葉形亜樹子のデュオによるバロック音楽のランチタイム・コンサート。

#### ランチタイム・コンサート

## 小林美恵(ヴァイオリン) & 葉形亜樹子(チェンバロ)

デュオ・リサイタル

11/18(金) 11:30 開演(11:00 開場) \*12:30 終演予定

静岡音楽館AOI・ホール(8階)

全指定¥1,800(静岡音楽館会員¥1,620、22歳以下¥1,000)

[Pコード:127-297]

曲目/J.-M.ルクレール:ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタニ長調 op.9-3

B.バルトーク/P.アルマ:ハンガリー農民組曲 Sz.100 より

A.コレッリ:ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ《ラ・フォリア》ニ短調 op.5-12

J.ニン/P.コハンスキ:スペインの歌 より

J.S.バッハ:ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ第3番 ハ長調 BWV1016

A



## いよいよ始まる!! 特集!! 静岡室内楽 フェスティバル2011

AOIでは今年、初の試みとして、11/18(金)～11/25(金)に  
「静岡室内楽フェスティバル2011」を開催いたします。

これは、AOIの室内楽ホールの特性を活かした公演を短期間で  
集中して実施し、室内楽の積極的な振興を目的に、国際的な演奏家だけ  
でなく地域の方々も気軽に参加いただけるフェスティバルとして  
継続的に開催していく試みです。

AOIだけではなく静岡の街のいたるところで音楽が溢れます。

AOIがアマチュアのアンサンブルを大々的にバックアップ!

アンサンブルが好きな人、大集合!

## アマチュア・アンサンブルの日♪ A

11/23(水・祝) 12:00 開演(11:30 開場) \*18:00 終演予定

静岡音楽館AOI・ホール(8階)

入場無料 \*申込不要。ただし定員によりご入場をお断りする場合があります。

[出演及び曲目]

- |                |  |
|----------------|--|
| 第1部<br>12:00開始 | ① リバティー・フルート・アンサンブル なすな(フルート三重奏)<br>R.ロジャース:《サウンド・オブ・ミュージック》より《エーデルワイス》、《トレスのうた》 |
|                | ② mille-feuille(フルート六重奏)<br>G.カッチャーニ:アヴェ・マリア                                     |
|                | ③ レ・ルボア・サクソфон・カルテット<br>D.スカルラッティ:3つの小品(木管編)                                     |
|                | R.ブルネル:バーレスク   |
|                | ④ 静岡県トロンボーン協会(トロンボーン五重奏)<br>D.ウーバー:3つの小品 op.29                                   |
|                | ⑤ Por Venir(ヴァイオリン、ピアノ)<br>F.M.ヴェラチーニ:ソナタニ長調 より《ジーガ》                             |
|                | ⑥ NKB48(ヴァイオリン二重奏、ピアノ)<br>J.S.バッハ:2つのヴァイオリンのための協奏曲 ニ短調 BWV1043 より 第1楽章           |

- |                |   |
|----------------|---|
| 第2部<br>13:00開始 | ⑦ トリニティオ(ピアノ三重奏)<br>J.ブラームス:ピアノ三重奏曲第1番 ロ短調 op.8 より 第1楽章                     |
|                | ⑧ じいじと楽ししい仲間(ピアノ三重奏、打楽器)<br>L.アンダーソン:シンコペーテッド・クロック                          |
|                | H.ネッケ:クリスマス・ポスト   |
|                | A.ヴィヴァルディ:ラルゴ(ヴァイオリン協奏曲《四季》より(冬) op.84, RV297 第2楽章)<br>久石譲:鳥を捕る人(銀河鉄道の夜)より  |
|                | ⑨ グラスキンテット(木管五重奏、ピアノ)<br>J.ライネルガー:六重奏曲へ長調 op.191b より 第1楽章                   |
|                | ⑩ ME4(マリンバ四重奏)<br>J.S.バッハ(G.ベツォルト):メヌエット(BWV Anh.114)                       |
|                | D.カバレフスキ:組曲《道化師》op.26-2 より《ギャップ》  |
|                | ⑪ マリンバ・アンサンブル「ソレイユ」<br>J.ブラームス:ハンガリー舞曲第5番                                   |
|                | G.ビゼー:歌劇《カルメン》より《闘牛士の歌》   |
|                | ⑫ オーケストラ・スプラウト(リコーダー・アンサンブル)<br>齊藤恒芳:7つのタブロー                                |
|                | ⑬ ギター・アンサンブル サウンド・オブ・ドリーム(リコーダー・アンサンブル)<br>F.シューベルト:軍隊行進曲第1番 op.51, D.733-1 |
|                | 江部賢一:ギターのための日本民謡メドレー(ソーラン節)(相馬盆歌)(八木節)                                      |
|                | L.イヴァノヴィチ:ドナウ河のさざ波  |

第3部  
15:00開始

## 特集\*神童モーツアルト

- |   |
|---|
| ⑭ アンサンブル 花音(木管三重奏)<br>G.ガーシュウィン:アイ・ガット・リズム  |
| WA.モーツアルト:ディヴエルティメント K.Anh.229(436) より 第1,4楽章   |
| ⑯ チーム「EK」(クラリネット二重奏)<br>A.シュタードラー:クラリネット二重奏曲  |
| ⑯ アンサンブル・ブリューム(弦楽五重奏)<br>W.A.モーツアルト:弦楽五重奏曲第4番 ハ短調 K.516 より 第1楽章                                   |
| ⑰ アンサンブル・ヴァンルージュ(フルート、ヴァイオリン、チェロ、ピアノ)<br>W.A.モーツアルト:<br>交響曲第38番《プラハ》ニ長調 K.504(J.N.ファンヘル編) より 第1楽章 |

第4部  
16:15開始

- |  |
|--|
| ⑯ amici(ピアノ・デュオ)<br>D.ミヨー:スカラムーシュ op.165b                                |
| ⑯ くらりんじゅー(クラリネット七重奏)<br>M.ラザル:《クーブラの墓》より《プレリュード》、《リゴーント》                 |
| ⑯ サックス・アンサンブル「PICO」<br>A.ピアソラ:ブルースノアイスの春                                 |
| ⑯ アンサンブルぶる静岡(フルート、ヴィオラ、ギター、チェロ)<br>F.シューベルト:四重奏曲《ノットゥルノ》ト長調 D.96 より 第1楽章 |
| ⑯ 山田木管五重奏団<br>C.ニールセン:木管五重奏曲 op.43 より 第1楽章                               |
| ⑯ MYROS(リコーダー・アンサンブル)<br>G.P.テレマン:協奏曲へ長調(TWV55:D14) (U.ヘルマン編)            |
| ⑯ 静岡県立清水東高等学校音楽部(弦楽アンサンブル)<br>J.ハイドン:交響曲第44番《悲しみ》ハ短調 Hob.I-44 より 第1楽章    |

※出演の応募は、締切させていただきました。

昼間のランチタイム・コンサートでヴァイオリンとチェンバロの調べを聴いたら、夜はAOI・レジデンス・クヮル텟で重厚な弦楽四重奏曲を! 数々の名演を披露してきたAOI・レジデンス・クヮル텟がついにベートーヴェンの世界に挑む。

## AOI・レジデンス・クヮル텟

11/18(金) 19:00 開演(18:30 開場) A

静岡音楽館AOI・ホール(8階)

全指定¥3,500(静岡音楽館会員¥3,150、22歳以下¥1,000)

[Pコード:127-299]

出演/松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、川本嘉子(ヴィオラ)、河野文昭(チェロ)

曲目/A.ポロディン:弦楽四重奏曲第2番ニ長調より第3楽章《夜想曲》

C.ドビュッシー:弦楽四重奏曲ト短調 op.10

L.v.ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第7番

《ラズモフスキイ第一番》ヘ長調 op.59-1



「静岡室内楽フェスティバル2011」の最後を締めくくるのは日本最高峰のオーケストラ、NHK交響楽団のエッセンス。AOIの芸術監督・野平一郎のピアノとともに極上のアンサンブルを聴く至福の一夜。

プラヴォー・アンコール!

## N響首席奏者たちによる 室内楽

11/25(金) 19:00 開演(18:30 開場) A

静岡音楽館AOI・ホール(8階)

全指定¥4,000(静岡音楽館会員¥3,600、22歳以下¥1,000)

[Pコード:127-300]

出演/堀正文(ヴァイオリン)、佐々木亮(ヴィオラ)、木越洋(チェロ)、野平一郎(ピアノ)

曲目/F.シユベルト:弦楽三重奏曲第1番 変ロ長調 D.471

R.シーマン:ピアノ四重奏曲 変ホ長調 op.47

A.ドヴォルザーク:ピアノ四重奏曲第2番 変ホ長調 op.87, B.162



静岡市美生涯学習センター×静岡音楽館AOI 連携事業

「静岡の名手たち」によるコンサート  
11/19(土) 13:30 開演(13:00 開場) B

静岡市美生涯学習センター(アイセル21)・ホール(1階)

入場無料・要申込(10/20(木)まで)

出演/生駒宗明(チェロ)第14回「静岡の名手たち」オーディション合格者

今田篤(ピアノ)第13、15回「静岡の名手たち」オーディション合格者

曲目/F.ショパン:序奏と華麗なるポロネーズ ハ長調 op.3

E.エルガー:愛のあいさつ op.12

C.サン=サンズ:《動物の謝肉祭》より《白鳥》

滝麻太郎:花、さくら さくら(日本古謡)

成田為三:浜辺の歌 ほか

[主催] 静岡市美生涯学習センター 指定管理者(財)静岡市文化振興財団

[協力] 静岡音楽館AOI

## Hotひといきコンサート D

11/24(木) 12:00 開演 \*13:00 終演予定

静岡市役所静岡厅舎新館・ラウンジ(1階)

入場無料

出演/くにたちトロンボーン四重奏団

(辻田雅史、星野舞子、平野由佳、尾崎麻佑子)

第15回「静岡の名手たち」オーディション合格者

曲目/D.モーツアルト:序曲と華麗なるポロネーズ ハ長調 op.3

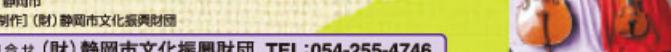
C.サン=サンズ:《動物の謝肉祭》より《白鳥》

滝麻太郎:花、さくら さくら(日本古謡)

成田為三:浜辺の歌 ほか

[主催] 静岡市役所静岡厅舎新館 指定管理者(財)静岡市文化振興財団

[協力] 静岡音楽館AOI



11/25(金) 12:00 開演 \*13:00 終演予定

静岡市役所静岡厅舎新館・ラウンジ(1階)

入場無料

出演/Dolcini

(谷口いづみ(ヴァイオリン)、河野百合子(ヴィオラ)、松尾佳奈(チェロ))

[主催] 静岡市役所静岡厅舎新館 指定管理者(財)静岡市文化振興財団

[企画・制作] (財)静岡市文化振興財団

お問合せ (財)静岡市文化振興財団 TEL:054-255-4746

コンサートシリーズ2011-12[第3期]のご案内  
10/29(土)より発売(会員先行販売10/22(土)~28(金))

## オーケストラを聴こう フライブルク・バロック・オーケストラ J.S.バッハ:管弦楽組曲全曲

1/12(木) 19:00 開演(18:30 開場)  
全指定¥5,000(静岡音楽館会員¥4,500)



## オーケストラを聴こう ストラヴィンスキー 3大バレエ一挙演奏!

2/4(土) 14:00 開演(13:30 開場) 会場/静岡市民文化会館 大ホール  
全指定A席¥6,000(静岡音楽館会員¥5,400)

B席¥5,000(静岡音楽館会員¥4,500) \*22歳以下はB席のみ

「オーケストラを聴こう」シリーズ第2弾の今回はAOIから飛び出して静岡市民文化会館大ホールで開催いたします。沼尻竜典の確かなタクトのもと、読売日本交響楽団が「20世紀の最高傑作」と言わされた《春の祭典》を含む3つのバレエ音楽を演奏。臨場感溢れる大ホールで心ゆくまでお愉しみください。

コンサートと併せて聞きたい  
講演会「ストラヴィンスキーの『3大バレエ』徹底解剖」  
2/4(土) 12:00~13:30  
静岡市民文化会館大会議室(3階)  
入場無料・要申込  
講師/沼野雄司(音楽学)



## お得なセット券の ご紹介

「オーケストラを聴こう」セット券 ¥10,000(静岡音楽館会員¥9,000)

①1/12(木) フライブルク・バロック・オーケストラ J.S.バッハ:管弦楽組曲全曲 ②2/4(土) ストラヴィンスキー3大バレエ一挙演奏!(A席)

## 連載⑥ 調律師とピアノ

AOIでは今年も伴奏法講座の新しい期が開講となりました。受講者の皆さんにとってはもちろんのこと、聴講されている皆さんにとっていろいろな発見があるのではないかでしょうか。例えばこの講座では6名の受講者が順番にステージに上がり同じピアノを弾きますが、そこではそれぞれの受講者の弾き方や音色に対する感性の違いからさまざまな個性を感じることができます。また講師である野平先生が実際に同じピアノを弾いてみせて、「ここはもっと柔らかい音で、ここはもう少し重みのある音で…」というように音色の扱いについてアドバイスされたりもします。

連載の前回ではピアノのメーカーによる音色の個性の違いについて取り上げましたが、これとは別に、同じピアノから出る音色が、弾く人によってあるいは弾き方によってずいぶんと違うことに驚かれた方も多いのではないでしょうか。その秘密は、実はこの楽器の名前の由来にもなった「強弱の変化を自在につけられる」という機能にあります。ピアノの音というのはただ一つの音が鳴らされただけでは非常に単純な音です。かつて「巨匠ピアニストの打鍵も、猫が鍵盤の上に飛び下りて出る音も、鍵盤を押す速さが同じならば結局は固定されたハンマーが弦を叩く事に違はないのだから、両者に差異はない」とする説が物議をかもしました。この説、単音に限って言えばその通りだと思います。しかし同時にあるいは、時間をおいて複数の音が鳴らされるときには、それらをどのような強さの関係で弾くのか、どのようなタイミングで重ね合わせるのか、弾く人の意志やセンスが反映されることになります。そして次々と重ねられてゆく音が音楽になってゆくとき、そこには無限の強弱やタイミングの組み合わせの可能性があるはずです。厳密にいえば最高度に訓練されたピアニストであっても、同じ和音、同じ一連のフレーズを全く同じ強さで再現して弾くことは不可能に近いことです。しかし彼らの訓練された耳が、常に出ている音を感じ取り、絶妙のコントロールでイメージに近い音を出す中で、演奏にそれぞれの個性が与えられてゆきます。実際、私たちがピアニストから要望を受けることの多くはこの強弱の変化に関することに集約されます。

ピアニストにとって、弱い音や強い音が思うように出なければ自分のイメージ通りの演奏ができない訳ですから、死活問題となります。好みという問題で片付ける訳にはいかない重大な問題なのです。私たちは音律を整える調律作業にはもちろんのこと、ピアニストの微妙な強弱のコントロールに忠実に反応するように、調整や整音作業にはここのほか神経を集中させます。その上でピアニストの演奏に耳を傾け、ピアノがどのように反応しているかどうか判断し修正してゆきます。長い間ピアニストのための仕事を統けていると、調整や整音に由来するほんの少しの強弱や音色の変化の問題が演奏全体の表現に大きく関わっていることに気付くようになります。「よく聴いて感じること」ごく当たり前の事ですが、これこそが音楽家と同じ様に私たちの仕事においてもすべてなのです。

松尾楽器商会 調律師 倉田尚彦

## CONCERT SCHEDULE

22歳以下  
¥1,000

### 山村流の地唄舞

1/21(土) 15:00 開演(14:30 開場)

全指定¥4,000(静岡音楽館会員¥3,600)

この公演では大阪に古くから伝わる唄と舞をお愉しみいただけます。陰翳の中、燐燐の炎の揺らぎのもと、創りだされる空間。季節や自然・風俗や文学の世界などを表現。「至高のエスプリ芸術」といわれる山村流の地唄舞から《八千代獅子》《ゆき》《蛙》《葵の上》と特長ある4つの作品を披露します。



### 生誕100年・没後20年 ジョン・ケージ:フォー・ウォールズ

3/10(土) 18:00 開演(17:30 開場)

全指定¥3,500(静岡音楽館会員¥3,150)

実験音楽家として前衛芸術全体に影響を与えたジョン・ケージをリスペクト。彼と親交が深かった高橋アキが、長年共演を重ねているダンサー田中泯と、2009年に世界初演で注目されたオペラ《ボボイ》舞役での活躍も記憶に新しい吉川真澄らと《フォー・ウォールズ》などケージのドラマティックな世界をお届けします。



コンサートと併せて聞きたい  
講演会  
「20年目のジョン・ケージ」  
3/10(土) 16:00~17:30  
講堂(7階)  
入場無料・要申込  
講師/白石美雪(音楽評論家)

## REPORT

コンサートへご来場いただいた皆様のアンケートより  
抜粋させていただきました。

### 7/23(土) ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ選集V 東誠三 ピアノ・リサイタル より

- 大変素晴らしいでした。  
是非全曲演奏会を企画していただきたい。(60代男性)
- びーんと芯の立った清涼感のある、気持ちのよい演奏でした。  
『悲愴』の2楽章まで聴けてとても嬉しかったです。(40代女性)
- 音が大変綺麗。  
Pからp、1音1音丁寧に表現していて上品な演奏でした。(40代女性)
- ベートーヴェンの良さを再認識しました。(50代女性)
- 《月光》の第3楽章が素晴らしかった。  
ショパン、リストなどの演奏も聴いてみたいです。(50代女性)
- ベートーヴェンはピアノの王道。  
正統派の演奏でとても良かった。(40代女性)
- エネルギッシュに、時に穏やかな演奏に感動し、涙が出ました。(60代女性)
- 子どもと一緒に聴かせていただきました。  
ベートーヴェンの世界にひたることができ、感動でした。(40代女性)
- ベートーヴェンの、それぞれ個性の違う曲を取り入れた、とても楽しいプログラムだった。(70代女性)



撮影:日置真光



日比さんは、第10回オーディションにも合格されていますが、  
今回は、何か変化などはありましたか?

前回は中学1年生だったので教えられたことを表現するのが精一杯でしたが、大學生になって自分の表現したいことが少しずつ明確になってきたと思います。

オーディションの他にも、  
AOIでの思い出や  
エピソードなどはありますか?

AOIは私にとっていつも大きな出会いの場でした。小学校1年生の5月に静岡市に引っ越しして間も無い頃、初めて郵便局に行った時、偶然にも今もお世話になっているピアノの先生の発表会があり、そのご縁で相山久美先生のレッスンを受けることができるようになりました。今師事している松原勝也先生の演奏を最初に聴いたのもAOIの小学生に音楽を聴かせてくれる企画でした。小学生の頃は月に何回も通って多くの名演奏の中で熟睡していました。体中が音楽に包まれる居心地の良いホールが大好きです。

### AOI カカリのアーティスト

AOIが実施する若手音楽家の開拓・支援プログラム「静岡の名手たち」。そのオーディションに合格され、10月8日のコンサートに出演されるヴァイオリニスト、日比恵三さんにお話を伺いました。

今回のコンサートでは、プロコフィエフの  
ヴァイオリン協奏曲を演奏されます。  
聴きどころを教えてください。

ロシア的でながらも、透明感あふれる美しい旋律と若いエネルギーが噴出するような激しいメッセージが不思議な感覚を呼び起こす音楽です。前期のプロコフィエフしさが表現できればと思います。

最後に、これから  
音楽活動の展望や  
目標をお聞かせください。

本来ならばコンクール、留学と答えるべきかもしれません、様々な角度から音楽にアプローチできる能力と技術を身につけていたいと思います。そういった力が総動員される室内楽をもっと勉強したいです。

日比さんをはじめ、このステージからはじまると若い才能に、あなたも熱いエールを。

### 第16回 静岡の名手たち オーディション合格者によるコンサート 10/8(土) 18:00 開演(17:30 開場) 静岡音楽館AOIホール(8階) 全自由 ¥1,800(静岡音楽館会員¥1,620) 22歳以下 ¥1,000

出演/  
入川翼(打楽器)  
野口舞若井(オーボエ)  
有賀実穂(クラリネット)  
浜松合奏五重奏団  
岩田豊美(ヴァイオリン)  
望月一平(ヴァイオラ)  
渡辺有夏(ヴァイオラ)  
日比恵三(ヴァイオリン)

# Ticket de Smile

加盟店のご紹介

スペイン北部・フランス南西部のバスク郷土料理とお酒の店。

## ■スペイン・バスク料理「LAS TAPAS」

TEL.054-253-1127

静岡市葵区紺屋町4-22 ソワーレビル3F

営業時間/17:00~24:00(月曜日定休)

http://www.lastapas.info

**【おすすめ】**

バスク名物干しタラのピルピル…¥1,280

バスク地方の伝統家庭料理アショア

…¥900

バスクを代表する米料理 イカ墨のメロッソ

…1人前¥1,500(2人前より)



グラスワインサービス

芸術鑑賞のあと、お食事とお酒など、いかがでしょうか？

## ■本格和風酒処「さかな屋」

TEL.054-273-7412

静岡市葵区紺屋町1-6(2F)

営業時間/17:00~24:00

**【おすすめ】**

お刺身五点盛合せ…¥2,980

活鰯の姿造り…¥690

天使の海老フライ…¥780



生ビール1杯サービス

チケット1枚で4名様までご利用いただけます。  
クレジットカードではご利用いただけません。

Ticket de Smile加盟店は静岡街中に55店舗!ぜひご利用ください。

\*チケット記載の日付(期間)に限り、1回ご利用いただけます。

\*チケットを提示されたご本人さまのみ有効です(店舗によって異なる場合があります)。

## Q1.

パイプオルガンのコンサートをやってほしいです。

A1. 皆様待望のパイプオルガンのコンサートを12/7(水)に開催いたします。新進気鋭のオルガニスト勝山雅世が、バッハをはじめ、充実したプログラムでクリスマスの季節を彩ります。ランチタイムの1時間と短いコンサートなので、クラシック初心者の方も安心してお楽しみいただけます。

## Q2.

いつもAOIのコンサートの内容が素晴らしい興味があり、思い切って会員になりました。

これからのコンサートにも期待しています。

A2. ありがとうございます。今後も10/15(土)アンサンブル・イティネラールや11/12(土)マルクス・パヴィリックピアノ・リサイタルなどAOIならではのコンサートを多数開催していきます。会員様は会員特典で1公演につき2枚まで会員価格で購入できるほか、コンサート割引券も使用できますので、より多くの公演にご来場いただき、AOIの魅力をご堪能いただければ幸いです。



お客様からのご意見、ご感想を紹介し、スタッフがあなたに答えます。

静岡音楽館AOI学芸員  
関本 淑乃

学芸員雑記

## オペラ・アリアを聴く

オペラは難しくてよくわからない、だと、高尚すぎて……、という声を耳にすることがある。確かに言葉はイタリア語だったりドイツ語だったりして、聴いているだけだと理解できないかもしれない。しかし、そもそも、オペラで展開される物語は、たわいもない恋愛のドタバタや、あるいは恋の悲劇であることが多く、その点、よくある恋愛ドラマとさほど違いはないと思う。なにも身構える必要はないのだ。それに、あらすじを知らないとも、聞えてくる音楽に耳を傾けるだけで十分楽しめる。

私が初めて生でオペラを観たのは中学生の時。モーツアルトの『コシ・ファン・トゥッテ』であった。特別にこの演目が観たくて観に行ったわけではなかったし(知り合いが出演するという、よくあるケース)、ましてや当時、クラシック音楽といつても、せいぜいピアノ音楽に少し興味を持っていただけだったので、何の知識もなく出かけていて、そこであらすじやら、登場人物やら、アリアやらを知ったのだが、楽しかった。それはモーツアルトだったことも大きい、と今では思う。

モーツアルトの音楽は、旋律の単純さ、軽やかさ、美しさが特徴で、もちろん、それはオペラにも顕著にあらわれている。『魔笛』という作品があるが、喜劇が多いモーツアルトのオペラの中で、テーマは奥深いのに、音楽はそれほど重くはない。有名な『夜の女王のアリア』にしたところで、「復讐の炎は地獄のように我が心に燃え」の歌詞で始まる、強い思いのこもった内容とは裏腹に、高音を駆使した、非常に軽やかな旋律だ。思わず口ずさんでしまいなくなるほど(実際には大変高度なテクニックを要求する曲なので、歌えるとはとても言えないが)。

その昔、何も知らなかった中学生の私でも、『コシ・ファン・トゥッテ』を観ることができたのは、モーツアルトの音楽の特徴一つまりは、それがすばらしさなのだが—ゆえでもあったろう。もっとも、予め、あらすじや音楽を少しでも知っていれば、より楽しめるのも確かである。知っている曲を聴いたときの楽しさは、きっと誰もが経験したことがあるはず。だとしたら、まずはアリアを聴いてみることから始めるのもいい。たとえ、数曲だったにせよ、そこがオペラへの入口となってくれるのではなかろうか。

子どものためのコンサート 神童 モーツアルト

12/18(日) 15:00開演(14:30開場)

静岡音楽館AOIホール(8F)

全指定¥2,500(静岡音楽館会員¥2,250) 22歳以下¥1,000 親子券¥3,000

出演／坂井田真実子、日比野章(ソプラノ)、鈴木准(テノール)、

池田直樹(オはなし)、山岸茂人(ピアノ)、野平一郎(オはなし、ピアノ)



photo:2006年1月27日(コシ・ファン・トゥッテ)

撮影:日置真光

静岡音楽館俱楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかにご連絡をお送りください。

なお、平成24年度以降の退会をご希望のかたは、平成24年2月末日までに、静岡音楽館俱楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので、ご了承ください。

静岡音楽館俱楽部 法人会員(2011年9月末現在)50会員

- (株)アイティネット
- (株)SBSプロモーション
- かわした歯科クリニック
- (株)サクタモンコボレーション
- 静岡ガス(株)音楽部
- 静岡ターミナルホテル(株)
- (株)静岡博報堂
- (株)タミヤ
- 三菱電機(株)静岡製作所
- (有)丸吉事務機
- (株)メディア・ミックス静岡

コンサートシリーズ2011-12

主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(財)静岡市文化振興財團

特別協賛 静清信用金庫

協 賛 アイワ不動産 HARVEST HOMES

次のことをご了承の上、チケットをお求めください。

皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

\* 価格は税込です。

\* 会員により内容を変更する場合があります。

\* お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更是致しかねます。

\* 場内の飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。

\* 携帯電話、アーム付時計等の使用はご遠慮ください。

\* お客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。

\* 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、

お客様をホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止

になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ち

ください(ただし、8階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内

いたします)。

\* 静岡音楽館AOIでは、小さなお子様にも良い音楽を聴いていただきたいと考え、

未就学児童の入場を制限しておりません(2歳以下のチケットが必要です)。

小さなお子様連れのお客様は、他のお客様のご迷惑にならないよう充分ご配慮

ください。

要事前予約・託児料: 1人 ¥1,000

すわん TEL.054-247-7477(9:00~21:00)

留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局

併設ビル内7~9階

駿府博物館

静岡市美術館

松坂屋

(有料) P

(有料) P

ホテルアソシア静岡

至 浜松

至 東京

N

駐輪場(有料) •

パルシェ JR静岡駅

至 東京

東海道本線・新幹線

静岡科学館

至 浜松

・

当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

CONCERT HALL SHIZUOKA

静岡音楽館 AOI

月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館) 9:00~21:30開館

〒420-8691 静岡市葵区黒金町1番地の9

お 問 合 せ

054-251-2200

AOI

検索